

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Melanoma and sun exposure: an overview of published studies.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MM-CQ1-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I)	
	Pubmed ID	9335442	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Int J Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	73	
	号	2	
	ページ	198-203.	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1997年	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Elwood JM	オタゴ大学
	その他著者 1	Jopson J	同
	その他著者 2		
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
その他著者 10			

レビュー研究の 6 項目	目的	メラノーマの発生と紫外線暴露の関係を明らかにする
	データソース	1992 年 IARC, Medline, IMAGE の主な学会抄録
	研究の選択	紫外線とメラノーマに関する症例対照研究でメラノーマ発症率の OR と 95%CI が記載されているもの
	データ抽出	2 人の著者が独立してデータを抽出
	主な結果	メラノーマ発症と間歇的露光に有意の相関あり (OR=1.71)。他方、職業性の多量の露光は有意にメラノーマ発症を低下 (OR=0.86)。日焼けとの関係では、成人後 (OR=1.91)、思春期 (OR=1.73)、幼少期 (OR=1.95) のすべてにおいてメラノーマ発症を増加させる。
	結論	メラノーマの発症と間歇的露光のあいだには確実な相関関係が認められる。メラノーマの発症と日焼けとの関係は間歇的露光の影響を反映している。このような紫外線暴露パターンとの関係は、有棘細胞癌とは明らかに異なり、むしろ基底細胞癌に類似する。
	備考	文献整理番号：メラノーマ Q1 文献番号 2
レビューワーコメント	レビューワー氏名	高田 実
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (I) 本研究であきらかなように、白人では、メラノーマの発症と間歇的露光のあいだには確実な関係がある。しかし、日本人をはじめとする有色人種にこの成績をそのまま適用することはできない。